

【日越大学メールマガジン Vol.03 2017年8月号】

(本メールマガジンは、これまで日越大学構想に関するセミナー・会議等に参加された方や、名刺交換させていただいた方々にお送りしております。)

日越大学は、日本とベトナムの両政府により、両国の友好と結束の象徴として新たに設立された大学です。2016年9月にベトナム・ハノイで開校しました。現在修士課程に60名の学生が在籍し、日本語と英語を学び、MBA・公共政策・地域研究・ナノテクノロジー・環境工学・社会基盤の各専攻プログラムで勉強しています。2017年9月には第二期生の入学を予定しています。

皆さん、こんにちは！日越大学構想・国内支援事務局です。

本メールマガジンでは、毎月1回、日越大学の近況や日越大学を取り巻くベトナムの状況について、読者の皆様にお届けいたします。このメルマガを通して、もっとたくさんの方に日越大学のことを知っていただきたいと思っています。

【今月のトピックス】

1 日越大学ニュース

- ・日越大学修士課程第2期生、入学試験に114名が合格

7月下旬に修士課程第2期生の第2回入学試験が実施されました(第1回は本年3月に実施)。積極的なプロモーション活動により、6プログラムに対してベトナム全土から前年を大きく上回る応募があり、8月中旬に114名の最終合格者が確定しました。第2期生の入学式は2017年9月9日に、ハノイ市内にて開催されます。

- ・MBA生が「2017 U.S. Ambassadors Entrepreneurship Challenge」で3位入賞

6月14日、企業管理(MBA)の学生3名で構成されたチーム"VJU for Grannies"が「2017 U.S. Ambassadors Entrepreneurship Challenge」に参加しました。本賞はアメリカ大使館が、ベトナムにおけるアントレプレナーシップの発展を目的に主催するもので、今回が2回目の開催となります。学生たちは、日越大学で学んだ様々なスキルを用いながら、高齢者にメンタルヘルスケアやマッサージのサービスを提供する"Grannies Care Services"というプロジェクトを発表し、3位に入賞しました。

・学部構想に向けた検討

日越大学では、将来的な学部構想に向けた検討が着々とすすんでいます。古田学長は、7月の日本一時帰国に際し、東京大学、早稲田大学等を往訪し、将来の学部開設に向けた協力体制等について面談を行ったほか、日本側支援大学の教員陣がサポートし、来日中の日越大学オアイン副学長も交えて、学部の理念やカリキュラム・シラバス策定に向けた会議を精力的に行いました。

・2018年度新設予定のグローバルリーダーシッププログラム、日越教員が協議

2018年9月に新たに開講される予定のグローバルリーダーシッププログラムの立ち上げに向けて、7月にベトナムから5名の専門教員陣が来日しました。本プログラムの立ち上げと運営を支援する早稲田大学にて、プログラムのコンセプト、輩出する人材像などについて建設的な話し合いが行われました。

2 日越大学で働く専門家の紹介

【第3回：中島 淳 専門家（環境工学）】

ベトナム・ハノイの日越大学で働く方々を紹介するコーナー。今月は、中島淳専門家（環境工学プログラム Co-Director、学長特別顧問）をご紹介します。

1950年代の東京は目黒の生まれ。1974年名古屋大学理学部物理学科を卒業後、国立公衆衛生院専攻課程環境科学科で、大学ではまだ確立していない公害・環境についての教育訓練（1年間コース：WHOのdiploma）を修了した後、千葉県水質保全研究所にて、現場の水質汚濁、環境測定、水環境、排水処理などの調査研究に24年間従事されました。

千葉県にある印旛沼の富栄養化とリンに関する論文で、1991年に東京大学から工学博士を授与。その後、1998年から2017年まで、立命館大学理工学部環境システム工学科教授（専門分野は水環境工学）として、数多くの研究に従事されました。（主な研究テーマは、水再生再利用、膜分離活性汚泥法、地下水からのひ素除去、排水の栄養塩除去、湖沼管理、途上国の水と衛生、浄化槽などの分散型処理システムほか）。

また、大学の国際教育や文理総合教育の推進にも積極的に取り組み、途上国の留学生を多数受け入れ、グローバル人材の育成に貢献されてきました。

更に、立命館サステナビリティ学研究センター長、琵琶湖Σ研究センター長、公益社団法人日本水環境学会会長（2011年～2013年）の要職を歴任され、2017年3月に立命館大学を定年退職（名誉教授）後、4月から日越大学で勤務されています。

温厚で物腰の柔らかなご性格、及び素敵な笑顔と高い見識、幅広い経験に裏付けされた講義は、学生からも評判が高く、日越大学のみならず、ベトナムの環境技術分野を牽引して頂けるものと期

待されています。

3 プログラム紹介

【第1回：地域研究】

今月より、日越大学修士課程の各専攻プログラム（MBA・公共政策・地域研究・ナノテクノロジー・環境工学・社会基盤）の学生や講義の様子などを紹介してまいります。今月は、地域研究プログラムをご紹介します。

地域研究プログラムは、日本研究とベトナム研究の2つのコースから構成される日越大学唯一のプログラムです。昨年9月の日越大学開学と共に入学した第一期生は、5名の日本研究専攻と4名のベトナム研究専攻の全9名の学生から構成され、彼らは現在、修士論文執筆のための研究活動に励んでいます。例えば日本研究の学生は、近世日本の代表的な人形劇『近松門左衛門』に関するものから、現代日本政府の外交政策まで、時代や学問分野を超えて様々な興味深いテーマを選択しています。他方、ベトナム研究の学生の研究対象は現代ベトナム社会ですが、近年注目されるベトナム人労働者の輸出入問題や、IT技術の発展にともなうSNS普及がもたらす社会問題など、いずれも現在のそして将来のベトナム社会を考えるうえでは重要なテーマです。そして、日越両国の関係を担っていく彼らを育てるべく、幹事校の東京大学をはじめ、ハノイ人文社会大学等の教員が力を注いでいます。

4 メディア掲載情報

東京大学と立命館大学が幹事大学としてプログラム作成や教育・研究活動を支援している「環境工学」プログラムが、8月21日付「日本水道新聞」に掲載されました。

<http://www.suido-gesuido.co.jp/blog/suido/2017/08/vietnamjapanuniversity.html>

【編集後記】

今秋、日本国内の数箇所において、来年9月入学の第3期生募集を目的とした学生募集セミナーを開催する予定です。ベトナムでは、全土から入試応募者が集まるなど、日越大学の知名度が高まりつつありますが、日本国内においても、留学中のベトナム人学生やアジア圏への留学に関心を持つ日本人学生を主な対象としたPR活動を展開してまいります。本セミナーの詳細は、次号以降のメールマガジンで皆様にお伝えしていく予定です。

日本語版のFacebookページが新たに開設されました。Facebookでは日越大学で起こる日常的な話題を随時アップしていきますので、ぜひ「いいね！」をお願いいたします。

日越大学 Facebook（日本語） <https://www.facebook.com/jicavju/>

【お問合せ先】

(独) 国際協力機構 (JICA) 東南アジア・大洋州部内

日越大学構想・国内支援事務局 神田・新村

Tel: 03-5226-9065 E-mail: 1rtd3-vju@jica.go.jp

日越大学 HP <http://admission.vju.ac.vn/>

JICA HP <https://www.jica.go.jp/project/vietnam/040/index.html>

日越大学 Facebook (ベトナム語) <https://www.facebook.com/vju.edu.vn/?fref=ts>

日越大学 Facebook (日本語) <https://www.facebook.com/jicavju/>

【メール配信停止・変更】

本メールマガジンの配信停止・宛先の変更・追加をご希望の方は、お手数ですが、日越大学構想・国内支援事務局 (1rtd3-vju@jica.go.jp) までメールにてご連絡をお願いいたします。